

平成24年の梅雨入り・明けと梅雨時期の特徴について

平成24年の梅雨入りは、全国的に概ね平年並だったが、九州北部地方と東北北部で早く、沖縄地方では遅かった。梅雨明けは、中国地方と近畿地方で早く、九州南部、九州北部地方、関東甲信地方で遅く、他の地方は平年並だった。梅雨の時期の降水量は、東北地方と北陸地方で少なく、関東甲信地方、東海地方、中国地方で平年並だった一方、他の地方は多く、特に奄美地方、九州南部、四国地方ではかなり多かった。また、7月11日から14日にかけては、「平成24年7月九州北部豪雨」が発生した。

地方名	梅雨入り(注1)	平年	梅雨明け(注1)	平年	梅雨時期の降水量 平年比と階級(注2)
沖縄	5月13日ごろ(+)	5月9日ごろ	6月23日ごろ(0)	6月23日ごろ	115%(+)
奄美	5月13日ごろ(0)	5月11日ごろ	6月29日ごろ(0)	6月29日ごろ	159%(+)*
九州南部	5月30日ごろ(0)	5月31日ごろ	7月23日ごろ(+)	7月14日ごろ	168%(+)*
九州北部	5月30日ごろ(-)	6月5日ごろ	7月23日ごろ(+)	7月19日ごろ	138%(+)
四国	6月2日ごろ(0)	6月5日ごろ	7月17日ごろ(0)	7月18日ごろ	141%(+)*
中国	6月8日ごろ(0)	6月7日ごろ	7月17日ごろ(-)	7月21日ごろ	93%(0)
近畿	6月8日ごろ(0)	6月7日ごろ	7月16日ごろ(-)	7月21日ごろ	126%(+)
東海	6月8日ごろ(0)	6月8日ごろ	7月23日ごろ(0)	7月21日ごろ	102%(0)
関東甲信	6月9日ごろ(0)	6月8日ごろ	7月25日ごろ(+)	7月21日ごろ	100%(0)
北陸	6月9日ごろ(0)	6月12日ごろ	7月26日ごろ(0)	7月24日ごろ	84%(-)
東北南部	6月9日ごろ(0)	6月12日ごろ	7月26日ごろ(0)	7月25日ごろ	86%(-)
東北北部	6月9日ごろ(-)	6月14日ごろ	7月26日ごろ(0)	7月28日ごろ	86%(-)

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)\*: かなり遅い、(+): 遅い、(0): 平年並、(-): 早い、(-)\*: かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 全国153の气象台・測候所等での観測値を用い、梅雨の時期(6~7月。沖縄と奄美は5~6月)の地域平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)\*: かなり多い、(+): 多い、(0): 平年並、(-): 少ない、(-)\*: かなり少ない、の階級区分を表す。

※階級区分は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%	33%	33%
	10%		10%
梅雨入り・明け	遅い かなり遅い	平年並	早い かなり早い
降水量	少ない かなり少ない	平年並	多い かなり多い

※気象庁では、毎年、春から夏にかけての実際の天候経過を総合的に検討し、各地の梅雨入りと梅雨明けの確定及び梅雨時期の特徴のまとめを行っている。

本件に関する問い合わせ先

: 地球環境・海洋部気候情報課(内線3154)、予報部予報課(内線3127)